

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2025-019
投書日	2025/7/15
タイトル	交差点の信号設置に関する警備体制の見直しについて
投書内容	いつも学生の安全を第一に考えた環境整備にご尽力いただき、誠にありがとうございます。 キャンパス間の移動時に使用する西友付近の交差点に、少し前に信号機が設置されたことに気づきました。安全確保のための対応として、学生としてもありがたく思っております。 ただ、以前からこの場所では警備員の方が交通誘導をしてくださっており、信号設置後も引き続き警備が行われている現状に、少し疑問を感じております。信号が正常に機能しているのであれば、常時の人的誘導は過剰かと思えます。警備員の方々の人員配置を他の必要な場所に充てるなど、より効率的な対応が可能ではないかと考えました。 安全第一が大前提であることは承知しておりますが、環境の変化に応じた見直しについてご検討いただけますと幸いです。
回答日	2025/9/11
回答	この度は、西友付近の交差点の警備体制について、貴重なご意見をいただきありがとうございます。学生の皆様の安全意識の高さに感謝申し上げます。 この交差点では、信号機設置前から学生や地域住民の皆様、そしてドライバーの方々の安全を最優先に考え、特に交通量の多い時間帯に警備員を配置し、交通事故の予防に努めております。信号機が設置された現在も、歩行者用信号機が点滅しても横断する学生への対応として、また、6月2日から福祉プラザ大規模改修工事に伴う連絡通路閉鎖による歩行者の安全確保を目的として引き続き警備体制を継続している次第です。 しかしながら、信号機の設置という大きな環境変化があった今、ご提案いただいたように警備体制の見直しは不可欠であると認識しております。今後は、歩行者の安全が十分確保されているか、交通状況に変化はないかなどを継続的にモニタリングし、その結果を踏まえて、より効果的かつ適切な警備体制を検討してまいります。人員配置についても、警備員の専門性を最大限に活かし、学内全体の安全管理に資するよう段階的に見直しを進めていく所存です。 今後も、学生の皆様が安心してキャンパスライフを送れるよう、安全対策に万全を期してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。